



DNV

VERIFICATION STATEMENT

Project ID: PRJN- 514427

Page 1 of 2

古河電気工業株式会社

<検証の目的>

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社は、古河電気工業株式会社（以下、組織）より、組織の作成した「2022 年度古河電工グループ環境保全データ報告書 第 3.0 版（2023 年 6 月 23 日）」（以下、報告書）に報告される水使用量及び排出量（以下、水データ）に関して第三者検証を依頼された。本検証業務の目的は、組織の主張する水データの主張に関して、算定基準に基づいて適正に算定・報告されていることを確認し、独立した立場から意見表明することである。

<検証の範囲>

検証の範囲は、2022 年度における組織のうち、古河電気工業株式会社（平塚事業所、三重事業所）、古河電池株式会社（いわき事業所）、株式会社古河テクノマテリアル、Furukawa Automotive Parts (Vietnam) Inc.の水の使用量及び水の排出量である。

<算定・検証基準>

検証対象である水データの特定・計算・監視・報告の基準は、温室効果ガス排出量の定量と報告のための規格である GHG プロトコル及びサプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（v2.5）を援用した、古河電工グループ環境保全データ算定報告ガイドラインである。また検証の基準は、ISO14064-3:2019 および ISAE3000 を基にした DNV 検証手順である。

<検証プロセスと方法論>

上記検証基準への適合性は水データの算定結果、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

<検証声明>

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、報告書に報告されている水データの主張に関して、同社の水使用量及び排出量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。なお DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性がないことを表明する。

場所・日時： 日本・神戸、2023 年 7 月 4 日

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

関根 明
主任検証人

前田 直樹
代表取締役社長

This Verification Opinion is based on the information made available to us and the engagement conditions detailed above. Hence, DNV cannot guarantee the accuracy or correctness of the information. DNV cannot be held liable by any party relaying or acting upon this Verification Opinion.

DNV Business Assurance Japan K.K. Sannomiya Bldg. South 11th Floor, 7-1-15, Goko-dori, Chuo-ku, Kobe 651-0087

VERIFICATION STATEMENT

Page 2 of 2

<算定及び検証の対象期間>

水データ検証の対象期間は、2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までである。

<組織境界>

「検証の範囲」に記載の、4 法人 5 拠点を検証対象及び境界とする。

<検証された水データの種別：種別は ISO 14064:2018 および GRI 303:2018 による>

水使用量

- ☒ 外部からの水供給
☒ 表層水
☐ 海水、汽水
☒ 回復可能な地下水
☐ その他

水排出量

- ☒ 外部(第三者)への排出
☒ 表層水域
☐ 海、汽水域
☐ 地下水
☐ その他

<検証された水の使用量及び排出量>

DNV の検証意見として水データは、現実性・透明性・測定可能性があるものである。下記の水使用量及び排出量はすべて検証済みである。

古河電気工業株式会社 平塚事業所

使用量（水道水・地下水）： $65.6 \times 10^3 \text{ m}^3$
排出量（下水道）： $65.6 \times 10^3 \text{ m}^3$

古河電気工業株式会社 三重事業所

使用量（地下水）： $1,653 \times 10^3 \text{ m}^3$
排出量（河川・下水道）： $1,015 \times 10^3 \text{ m}^3$

古河電池株式会社 いわき事業所

使用量（水道水・工業用水）： $270 \times 10^3 \text{ m}^3$
排出量（河川）： $97 \times 10^3 \text{ m}^3$

株式会社古河テクノマテリアル

使用量（水道水・地下水）： $54.7 \times 10^3 \text{ m}^3$
排出量（下水道）： $52.3 \times 10^3 \text{ m}^3$

Furukawa Automotive Parts (Vietnam) Inc.

使用量（水道水）： $165 \times 10^3 \text{ m}^3$
排出量（下水道）： $132 \times 10^3 \text{ m}^3$

<検証意見>

- ☒ 無限定適正意見
☐ 限定付適正意見
☐ 不適正意見

This Verification Opinion is based on the information made available to us and the engagement conditions detailed above. Hence, DNV cannot guarantee the accuracy or correctness of the information. DNV cannot be held liable by any party relaying or acting upon this Verification Opinion.

DNV Business Assurance Japan K.K. Sannomiya Bldg. South 11th Floor, 7-1-15, Goko-dori, Chuo-ku, Kobe 651-0087